

令和2年度学校評価計画書

廿日市市立七尾中学校

評価計画					自己評価					学校関係者評価 コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間 8月	最終 2月	達成	評価	結果と課題の分析		
グローバル社会に求められる、基礎的な知識・技能の習得と主体的に学び課題を解決する力及び思考力・判断力・表現力を育成する。	◎生徒に主体的に学び、課題を解決する力が身につけている。 【市共通項目】	・課題発見・解決学習等の生徒が主体的に学ぶ学習活動を取り入れる。 ・認知機能を高めるコグニティブトレーニングを授業に取り入れる。 ・「書き切らせる」指導を行う。	主体的な学びに関する生徒質問紙の肯定的回答の割合を80%以上にする。	80% (79.1%R1)							
	◎生徒が自分で思考し、判断し、表現できている。 「感・考・行」 【小中共通】	・説明、自己表現、プレゼンテーション等の表現する学習活動を取り入れる。 ・「理由を付けて考えを説明する」指導を行なう。	「理由をつけて考えを説明、表現することができている」と回答した生徒の割合を80%以上にする。 【小中共通】	80% (65.5%R1)							
お互いに認め合える集団づくりを進め自己有用感を高めることによって、問題行動の未然防止を図るとともに学ぶ意欲を高める。	◎生徒の自己有用感が高まり、お互いのよさを認めあっている。 【市共通項目】	・授業や生徒会活動、学校行事などの活動を通して、自分の頑張りやよさや他人の頑張りやよさを見つけさせる。 ・生徒にまわりの人の役に立つような活動を行わせる。 ・不登校生徒と話し、居場所を作る。	自分のよさは、まわりの人から認められると回答した生徒の割合を70%以上にする。【市共通項目 70% R2】	70% (68.0%R1)							
			不登校生徒の割合を2.50%以下にする。 【市共通項目 2.50% R2】	2.50% (9名) (4.26%17名 R1)							
教職員の子どもと向き合う時間を確保し、教職員が健康でやりがいをもって勤務できる環境をつくる。	働き方改革を推進し、長時間勤務を縮減する。 【市共通項目】	・予防及び早期対応による生徒指導に関する時間を縮減する。 ・会議時間及び行事等の工夫、見直しを行う。 ・管理職による面談を行う。	子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合を70%以上にする。 【市共通項目 80% R3】	70% (42.1%R1)							
			時間外勤務時間が、月平均80時間を越える教職員の割合を10%以下にする。【市共通項目 0% R3】	10% (15.5%R1)							

評価規準：目標値に対する達成度 A：100%以上 B：80%以上 C：60%以上 D：60%未満 (※「◎」本年度の重点項目)